

「学校全体で行うポジティブ行動支援と子育て ～行動分析学の実践から学ぶ～」

【講師】奥田健次氏（日本子ども健康科学会理事・臨床心理士）

家庭や学校で、子どもたちが示す「問題行動」は、果たして問題行動なのでしょうか。それは確かに、親や教師などの大人にとって困ること、目障りなこと、耳障りなことでしょうから、大人側からすれば「問題行動以外の何物でもない」となります。

私は、数多くの教育相談と学校コンサルテーションを行ってきました。簡単なコンサルテーションで済むような話ではなく、私の場合はほとんどが「医師に相談しても様子を見るだけ」「心理カウンセラーに相談しても、励ましだけ」で、共通して「問題が解決しない」というケースばかりになります。ある自治体の課長は、私のコンサルテーションを「最後の砦」と表現しました。こうした場合、世間で言うところの「困難事例」ということになるのですが、そのほとんどは「(問題となっている)行動を減らしたい」という方向性です。「望ましい行動を増やしたい(のですが、うまくいきません)」という相談は、ほとんど皆無です。それだけ、世間で言うところの「困難事例」は、大人にとって減らしたくてたまらない問題なのでしょう。本講演では、たとえ困難事例であっても新しい行動を増やすことで、問題が解決するポジティブ行動支援の実践事例から、その考え方や方法について紹介します。

奥田健次氏 プロフィール

兵庫県西宮市出身。学校法人西軽井沢学園創設者・理事長 2024年4月長野県佐久市に「さやか星小学校」を開校。

専門行動療法士、臨床心理士。桜花学園大学大学院客員教授。法政大学大学院、愛知大学、早稲田大学など非常勤講師を歴任。日本子ども健康科学会理事、日本緘黙研究会常任理事（副会長）。一般社団法人日本行動分析学会理事などを歴任。

教育相談を行うために、全国各地からの支援要請に応えている心理臨床家。日本国内だけではなく、世界各地から招かれる国際的セラピスト。行動上のあらゆる問題を解決に導くための洗練された技術と、子ども一人ひとりに合わせて完全にオーダーメイド化された奇抜でユニークなアイデア、指導プログラムの緻密さについて。国内外の関係者から絶賛されている。これらの臨床活動は、しばしばドキュメンタリー番組などで紹介されている。

著書『拝啓、アスペルガー先生』（飛鳥新社）、『叱りゼロで「自分からやる子」に育てる本』（だいわ文庫）、『世界に1つだけの子育ての教科書』（ダイヤモンド社）『メリットの法則—行動分析学・実践編』（集英社）などロングセラー多数。臨床活動を描いたマンガも出版されている。

【日時】 令和7年2月16日(日) 13:30 受付 開始 14:00～16:30

【会場】 作新学院大学 中央研究棟 108 教室

【定員】 120名 【参加費】 一般：2,000円

【申し込み方法】

◇QRコードでお申込みの場合

右QRコードを読み取り必要事項をご記入の上、送信してください。

URL: <https://forms.gle/iRhQiGL9wGcTg5fQ9>



◇お申込みと同時に参加費（2,000円）を下記の口座にお振込みください。
参加費の振込をもって申し込み完了とさせていただきます。

*払込取扱票には「セミナー申し込み」と記入してください。

「ゆうちょ銀行」振替口座：00150-1-581570（当座：0一九店 581570）

加入者名：NPO 法人栃木県カウンセリング協会

【申し込み締切り】 2025年2月3日(月) 参加の可否は定員を超えた場合のみ、ごれんらくします。

【問い合わせ先】 〒320-0857 栃木県宇都宮市鶴田2丁目1-8 ムギショウビル2階

NPO 法人栃木県カウンセリング協会 TEL:028-647-1717

(一社)日本カウンセリング学会栃木県支部会 TEL:028-649-1210

FAX(共通):028-649-1213

【主催】NPO 法人栃木県カウンセリング協会 ・(一社)日本カウンセリング学会栃木県支部会

【後援】 栃木県教育委員会・宇都宮市教育委員会・下野新聞社

日本学校教育相談学会栃木県支部 栃木県公認心理師協会